



Profile



氏名：平出将孝(Hiraide Masataka)
 出身：福島県
 職種：手芸
 期間：2017年10月～2019年9月
 赴任地：東ティモール首都ディリ
 活動：配属先は文化庁の主に工芸品を取り扱う部署で生産者グループの支援を行っています。

Timor-Leste

公用語：テトゥン語ポルトガル語
 人口：118万人(岩手県ぐらい)
 面積：約15,000km(岩手県ぐらい)
 宗教：大半がカトリック
 通貨：アメリカドル

歴史：ポルトガルの植民地後、インドネシアが制圧。1999年の住民投票でインドネシアからの分離・独立を選択し、2002年に独立国家となりアジアで一番若い国と呼ばれている。



1 近況報告

活動は継続して午前中に配属先で、情報発信の資料等を作成し、午後はNGOのTimor-AIDで竹細工をしています。また、5月下旬に予定しているJICAフェスタの準備も始まってきました。このJICAフェスタは、JOCV(協力隊)が東ティモールに派遣されて10周年を記念して行われます。



高校生が活動を見学にきました

2 配属先の活動

配属先では伝統工芸品のタイスをユネスコの文化遺産に登録しようという話を外部から受け、そのための会議が日々行われており、行事が増えてきたように感じます。配属先では関係者を呼び、イベントを開催し、情報を共有することがメインの仕事です。

(1) 日本の高校生が職場見学にきました

今から約20年前に、ロスパロスと呼ばれる地方で水道を引いたりと現地で活躍していた日本人の先人が、日本から高校生を引き連れて、私の活動を見学にきました。見学に来ていただいたNGOのTimor-AIDでは、私が行っている活動などを説明し、現地のグループと作成しているものをご購入していただきました。



地方のタイスの説明



自分の活動の説明



作成物の紹介

(2) BeBeAroganteの販売活動

ティモール人はお金を使う習慣があまりないので、作成しているお土産品のターゲットは外国人になります。東ティモールに住む外国人は隣国のインドネシア人やオーストラリア人をはじめ、昔占領していたポルトガル人、スーパーを経営する中国人が多く、支援関係で韓国人やアメリカ人が住んでいるようです。その外国人が多く訪れるのが、2、3ヶ月に1度の大型客船が観光にやって来るときです。そのときに合せて商品を充実させ、外国人に販売していきます。今回は、我々も豪華客船の寄港に便乗し大量に作成し販売してきました。

以前から、大型客船が寄港するタイミングに合わせて販売するためのお店を出したいと考えていたのですが、なかなか寄港の情報が入ってこず、把握することが難しかったのですが、ようやく観光省と情報共有ができるようになり、今回は万全の体制で販売に臨みました。ティモール人を含め、興味を示してくれる人は多く、沢山のお褒めの言葉をいただきました。



観光客へダンスを披露



豪華客船が寄港



作成の様子



露店で販売

(3) 木を植える

毎週金曜日は、ゴミ拾いなどの環境のアクティビティの日になることが多く、配属先では海岸のゴミ拾いなどが定期的に行われています。先日は配属先を含む省庁で川沿いに木を植えるアクティビティがありました。現地ではまだガスの代わりに木材が使われていたり、乾季のときに木が育ちにくいといった問題があるため、環境に対する意識改革は必要だと感じています。《第18号終わり》



雑草を掻き分けて木を植える